



techUP

VBAを使ってみよう！

そもそもVBAってなに…？



VBAは、Microsoft Office製品に搭載されている、

Visual Basic Officeでも使えるよう工夫された
プログラミング言語です。

例えばExcelでよく使われるマクロは、VBAを使って動かしています。





techUP

VBAを活用して出来ること

例えばこんなことができます！

- ①転記作業の自動化
- ②レポート作成の自動化
- ③Office連携作業の自動化・メールの一括送信
- ④フォルダの一括操作

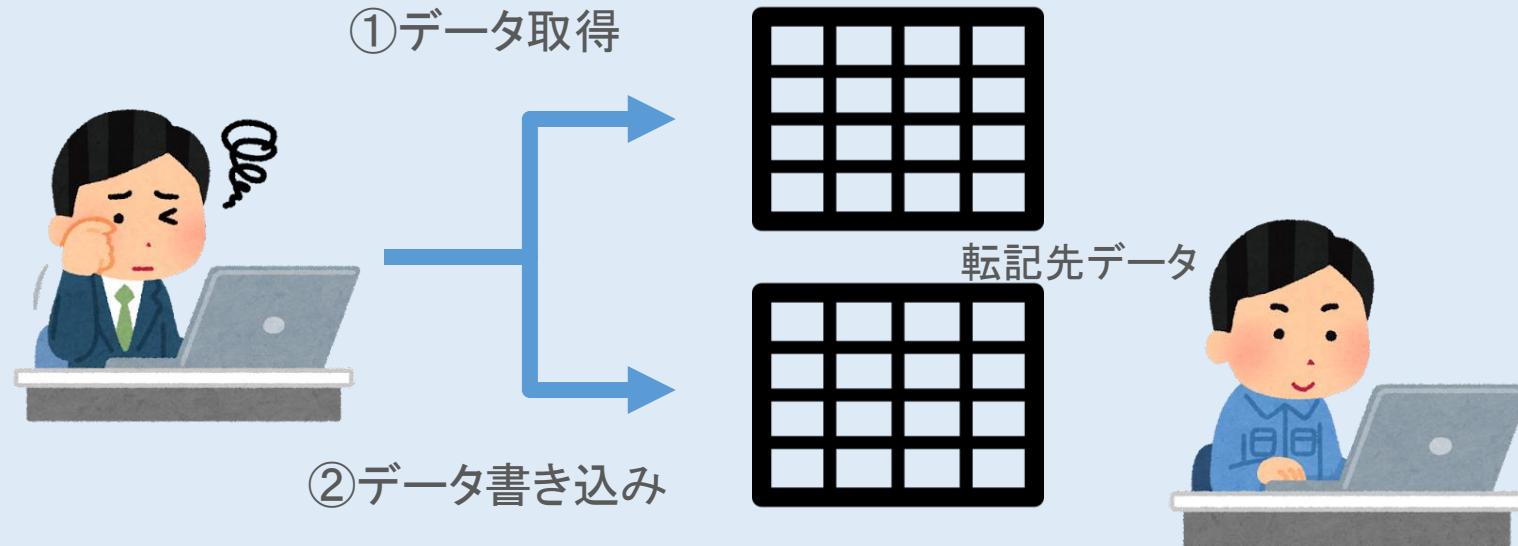




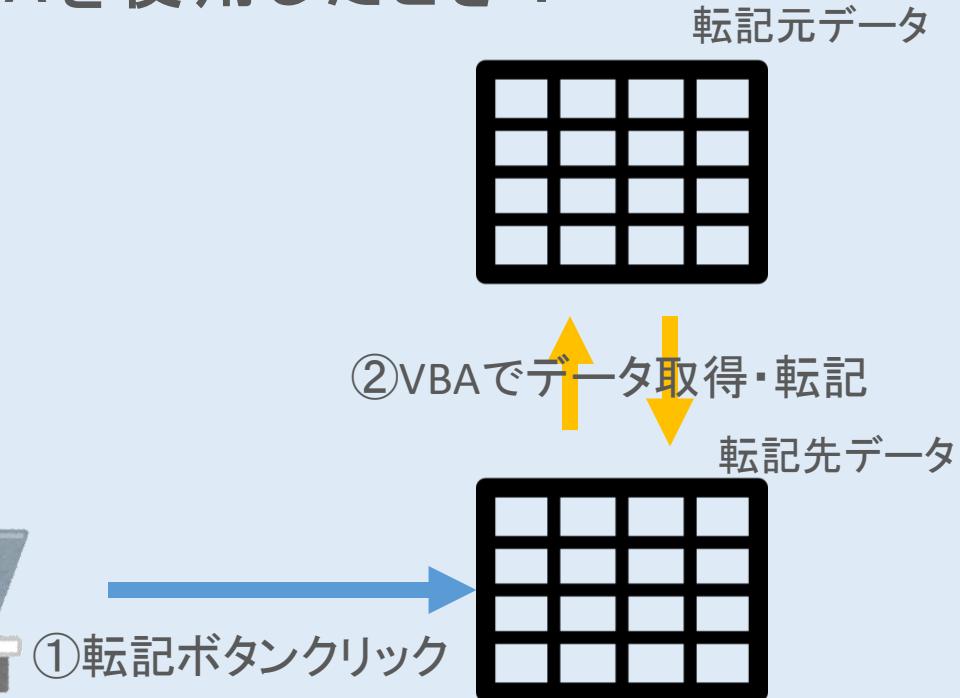
techUP

①転記作業の自動化

VBAを使用しないとき…



VBAを使用したとき！

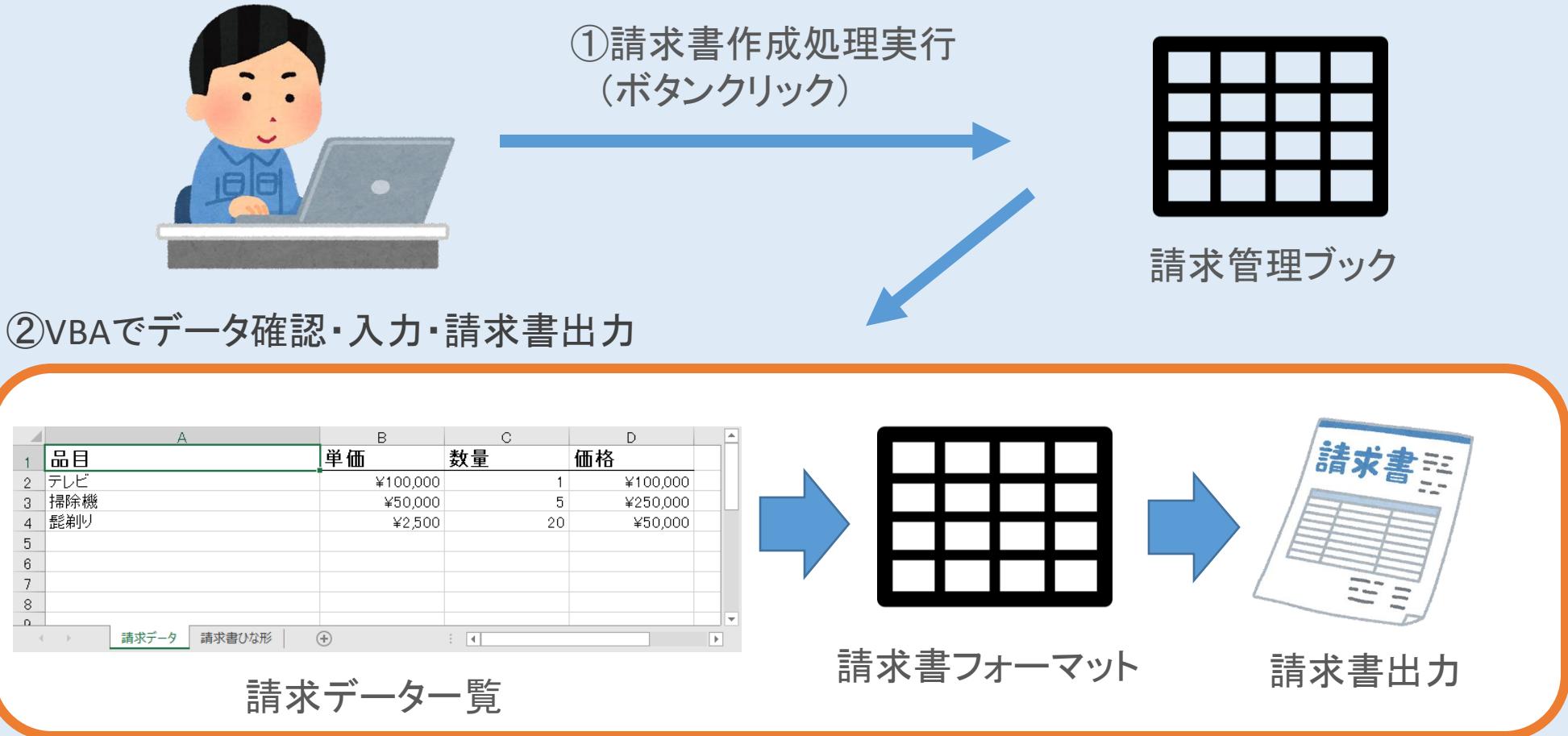


このようにVBAを使用することでボタン1つでExcelの別のシートから必要な情報のみを次のシートに転記することができます。事務作業の効率化が目指せます。



techUP

②レポート作成の自動化

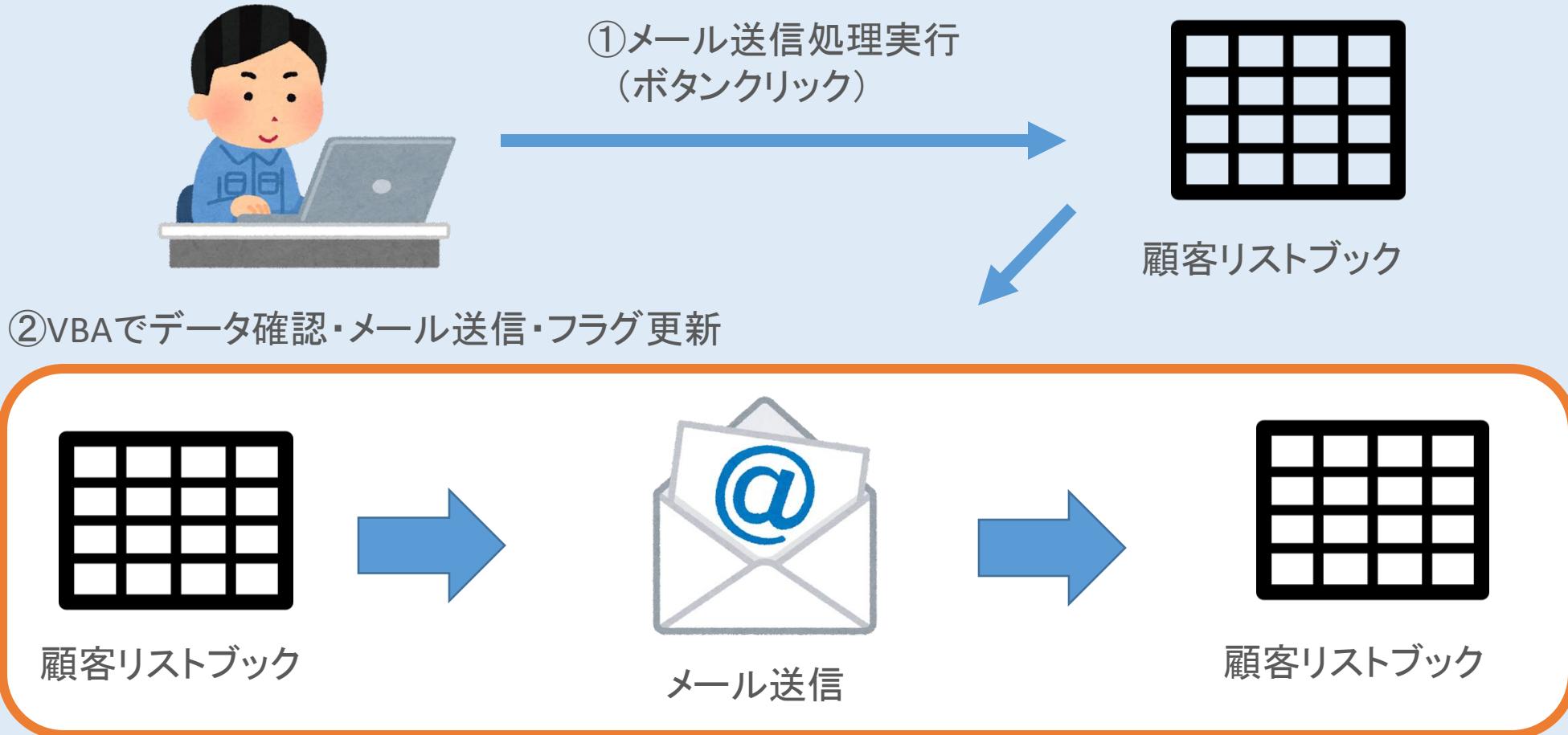


本来レポートを作成する場合、Excelの特定のシートの特定の列を、
レポートの決められた部分に記述していくといった流れになります。
この一連の作業をVBAを使用することによって、ボタン1つクリックで簡略化することができます。



techUP

③Office連携作業の自動化



営業メールの送信を自動化し、メール送信有無を自動で管理するといったことが可能になります。
メールの誤送信の不安等がある場合は、メールの作成のみ、作成したメールを下書きに保存までといった作業も出来る為、
VBAを使用して作成したメールを自分で最終確認し、送信のみも可能です。非常に効率的な作業が可能になります。



techUP

④フォルダの一括操作



会社の規模が大きい小さいに関わらず、フォルダで一人一人の管理をしている場合、

例えば、交通費申請のフォーマットが変更になる際に、方法としては

①一人ひとりがテンプレートをダウンロードし、自分のフォルダに保存する

②人事担当の方が一人一人のフォルダにテンプレートを用意する

となりますが、これが一つの操作で全員分のフォルダに保存してくれると楽ですよね。
そういった操作が可能になります。



VBAで出来ないこと

①大量のデータ処理

Excelのワークシートは最大でも(1,048,576 行 × 16,384 列)が上限です。
これを上回る容量のデータの処理は不可能となってしまいます。



②Office以外のアプリケーションとの連携

VBAは、Officeアプリケーションで使えるプログラミング言語となる為、
外部ソフトとの連携は出来ません。

③アプリケーションの開発

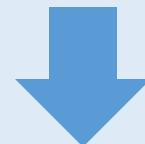
VBAはあくまでもExcelなどの機能拡張の為に用いられるプログラミング言語です。
その為、アプリケーション開発が全く出来ないわけではありませんが、
デザイン性や機能面で優れた開発は出来ません。



techUP

まとめ

これからエンジニアとしてのアサイン面談を進めていく中で、
クライアント様が求めるスキルの中に、「これがあると尚良」のスキルとしてVBAが上位にあげられます。
VBAはExcelなどのMicrosoft Office製品に搭載されている簡易なプログラミング言語である為、
誰でも簡単に学習を進めることができます。
VBAを使用して効率化できる作業は数多くありますので、
それでは、以下のリンクを参考に学習を進めていきましょう！



下記URLから学習スタートしてください！



<https://excelvba.pc-users.net/> 『Excel VBA 入門講座』